

2025 年度

事業計画書

一般財団法人ライフ・プランニング・センター

目 次

一般財団法人ライフ・プランニング・センター	
「理念」と「運営の基本方針」	----- 1
1. 事業	----- 2
(1) 健康教育サービスセンター	----- 2
(2) 日野原記念クリニック	----- 3
(3) 日野原記念ピースハウス病院	----- 5
(4) ピースハウスホスピス教育研究所	----- 6
(5) 訪問看護ステーション中井	----- 7
2. 運営・管理	----- 8
本部事務局	----- 8

一般財団法人ライフ・プランニング・センター

理 念

一人ひとりが与えられた心身の健康をより健全に保ち、全生涯を通して 充実した人生を送ることができるように共に歩む。

運営の基本方針

1. 一人ひとりが健康について理解を深める機会を提供する。
2. 生活習慣の改善により「自分の健康は自分で守る」ことができるように、根拠に基づいた医療と教育を実践する。
3. 成長と発達、病気や老化の過程を通して生涯にわたり、生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）が豊かに保たれるように支援する。
4. 地域の医療・介護・保健・福祉の発展に貢献するため、有機的連携をはかり、人材の育成に取り組む。
5. 働きやすい職場環境をつくり、互いの役割を尊重しチームワークを実践する。
6. 上記 5 項目を実践し継続するために、健全な財団経営を行う。

(1) 健康教育サービスセンター

【2025 年度事業目標】

財団の理念及び基本方針に則り、医療分野における質の高い専門的研修事業を提供する施設として、持続可能な健全かつ効率の良い運営めざす。

【事業目標達成のための具体的活動計画】

A. 研修参加者等の確保

- ① がんのリハビリテーション研修は 2024 年度と同様に、がんリハ個別学習（e ラーニング）4600 人、がんリハ集合学習は 2400 人、リンパ浮腫研修も前年度同様 300 人程度とする
- ② 他研修会実施の場合は 200 人以上の参加登録とする
- ③ 財団広報活動では、作成された会報や事業報告書を財団の情報発信の一つとして、有効に役立つ方法の検討を行う

B. 運営継続のための人事、組織管理

- ① 管理職人材の育成及び経理処理と事務作業の合理化とペーパーレス
 - ・勤退出と経理連動管理のためのシステム導入を積極的に働きかける
 - ・Kinton を用いての研修管理導入後の利便性を高める
- ② 担当分野にこだわらない協力体制の構築
- ③ 模擬患者活動における事務処理の合理化と軽減化
 - ・外部依頼団体と依頼内容及び受け入れの一元化と合理化

C. 運営継続のための職場環境

- ・他企業の施設に間借りした状態が 2020 年より 4 年間続くが、2027 年 12 月頃には解消される見込み

D. 質の高い教育、研修のためのハード部分への試み

- ・事務所としてのスペースが狭く理想的なオフィス環境ではないが、向こう 3 年後には改善の見込み

E. 質の高い教育、研修のためのソフト部分への試み

- ① 現研修事業では e ラーニング配信が重要であるため、より利便性の高いものを求めて従来の契約にこだわらずに、新規開拓を積極的に行う
- ② 健康教育 SC の HP サイトの早急な改訂
- ③ 委託事業厚労省科研班事業 HP の更新

F. 財団他部署との連携

- ① 財団活動に関する関心が十分に進んでいない状況打破の一環として全部署加の研修会を次年度も計画し、積極的にかかわることを促進する

G. 社会貢献

- ① 担当分野として、医療者や患者研修に関わっており、業務を通して社会貢献にもつながる意識向上のために、関連専門研修会にも公費で参加する配慮を行う

（２）日野原記念クリニック

【５年後の姿】

- 1 良心的で AI を駆使した質の高い医療施設
- 2 充実したスタッフ
- 3 働き甲斐のある職場環境

【2025 年度事業目標】

- A. 経営の安定化
- B. 業務内容の改善
- C. 職場環境の改善

【事業目標達成のための具体的活動計画】

A. 経営の安定化

- ① 閑散期の受診者数前年度 1 割以上増加
 - i 閑散期初回受診者への割引料金設定
 - ii ネット予約の充実とポータルサイトでの販促（利用者へのメールアドレスの獲得）
 - iii 午後ドックの充実
 - iv 対外広報及び営業活動の活性化
 - v 受診者対応改善によるリピーター増加
- ② 受診料金増額
- ③ 診療収支の評価を行い、増収に向けて業務内容の調整を検討
- ④ 各部署で責任者がスタッフに現状収支を説明し理解させ、職務の方向性を示す
- ⑤ オプション検査販促、新規オプション検査の追加
- ⑥ 各種資材等購入に際し、事前の慎重な検討
- ⑦ 近隣健診施設の調査
- ⑧ 顧客満足度調査の実施
- ⑨ Zoom 利用での特定保健指導の実施準備
- ⑩ 担当者セミナーの再開

B. 業務内容の改善

- ① 必要スタッフの確保ならびに質的向上の継続
 - (ア) スタッフの育成計画策定と実行
 - (イ) 職員各種技能資格・試験への補助の検討
- ② スタッフ担当業務の効率化の為の見直し（結果報告書などの電子化へ向けて検討）
- ③ 各スタッフの担当業務範囲の適切な設定
- ④ 次期クリニック移転への準備の検討

- (ア) 次期健診システム・電子カルテへの取組
- (イ) ペーパーレス化への取組進展(画像ファイリングシステム構築の検討)
- (ウ) 次期クリニックでの診療・検査内容(CT、腰椎・大腿骨 DEXA、OCT、3D-MMG など)の具体化ならびに伴う収支の検討
- (エ) 画像読影外部委託業者の調査・検討

C. 職場環境の改善

① 職場内の定期的な打ち合わせの実施

- (ア) 全体、各課等、階層別
- (イ) 職場内コミュニケーションツール導入の検討(システム部)

② スタッフの心身の健康維持

- (ア) 各部署の定員数の設定と実際の配員数との差異是正(医事、技師、看護師、医師、等)
- (イ) 長時間労働の回避(三六協定の遵守、残業は上司の許可を事前に得た後に)
- (ウ) 有給休暇取得率の増加
- (エ) 朝礼もしくは夕礼を適宜実施(人事報告や新入職員紹介など)
- (オ) 新年会など職員親睦会の実施

(3) 日野原記念ピースハウス病院

【2025 年度事業目標】

- A. 緩和ケアの専門施設として、質の高いケアの提供を継続していく
- B. 地域の保健・福祉関係者との連携・協力関係を強化し、患者・家族が希望する場所で安心して療養できるよう支援していく
- C. 教育研究所と協力し、緩和ケアの教育・啓発普及活動を推進する

【事業目標達成のための具体的活動計画】

- A. 緩和ケアの専門施設として、質の高いケアの提供の継続していく
 - ① チームによる質の高いケアの提供をさらに向上させるとともに、課題に取り組んでいく。
 - ② 質の高いケアを提供するために、職員・ボランティアが意欲的、継続的に働きやすい環境を整える。
 - ③ 緩和ケア外来を充実させ、早期からの緩和ケアの提供を目指す。
 - ④ 当院での緩和ケアを求めている人に時宜を得た対応をし、平均在院患者 18 名を目指す。
 - ⑤ 在宅療養支援病院として地域の診療所との連携協力を進めるとともに自院からの訪問診療に取り組む。
 - ⑥ 診療記録・オーダーリング、事務管理記録等の電子化に合わせた管理・連携体制を確立していく。
- B. 地域の保健・福祉関係者との連携・協力関係を強化し、患者・家族が希望する場所で安心して療養できるよう支援していく
 - ① 連携する医療機関との交流会（事例検討会など）を開催し、課題の共有とともに今後の方向性をともに考えていく。
 - ② 患者・家族の多彩な要望に適切に応えられるよう研鑽を積む。
- C. 教育研究所と協力し、緩和ケアの教育・啓発普及活動を推進する。
 - ① 緩和ケアに従事する専門多職種、ボランティアの為の教育プログラムを継続的に提供するとともに一層の充実を図る。
 - (ア) 学習支援：事例検討会、ワンポイント学習会、研修派遣など
 - (イ) 研究活動奨励・支援
 - (ウ) 緩和ケア講座の開催と研修の受入れ
 - (エ) ボランティア講座開催と活動支援、ボランティア実習の受入
 - ② 啓発普及から遺族ケアに至る幅広い緩和ケア教育・支援活動拡充
 - (ア) 市民を対象とした緩和ケアの啓発普及活動
 - (イ) 遺族ケア推進：ビリーブメントケア委員会、ピースハウス家族の会との協働

(4) ピースハウスホスピス教育研究所

【2025 年度事業目標】

- A, 緩和ケアに従事する専門職、ボランティアへの教育プログラムの提供
- B, 緩和ケアの啓発普及活動
- C, 日本ホスピス緩和ケア協会の事務局として日本の緩和ケアの発展に貢献

【事業目標達成のための具体的活動計画】

- A. 緩和ケアに従事する専門職、ボランティアへの教育プログラムの提供
 - ① 医療福祉関係者を対象とする緩和ケア講座の開催と地域連携
 - ② 事例検討会や研修派遣など緩和ケア教育プログラムを通しての学習支援
 - ③ 医療者のための緩和ケア研修の受入れ
 - ④ ボランティア養成講座の開催
- B. 緩和ケアの啓発普及活動
 - ① 医療・介護・福祉関係専門職の見学受入
 - ② 市民を対象とした緩和ケア啓発プログラムの開催
- C. 日本ホスピス緩和ケア協会の事務局として日本の緩和ケアの発展に貢献
 - ① 緩和ケアの教育・普及活動、ケアの質の評価と向上に関する事業
 - ② 国内外の緩和ケア専門団体との情報交換、交流事業の推進など

(5) 訪問看護ステーション中井

【2025 年度事業目標】

- A. 経営の安定化を図る
- B. 地域の現状ニーズと高齢者の特徴を理解したケアの提供が出来る
- C. 法人内及び周辺地域の医師・行政・地域包括支援センター・サービス事業者とスムーズな連携を図る

【事業目標達成のための具体的活動計画】

- A. 経営の安定化を図る
 - ① 訪問看護目標件数：月 300 件、年間 3600 件以上の訪問件数〔1 人あたり 81.1 件/月 〕
居宅介護支援目標件数：月 60 件、年間 720 件
 - ② 業務の効率化・見直しによる管理費支出の適正化
 - ③ 積極的な利用者の確保により、医療診療収入を上げる
 - ④ 働きやすい、働き続けることのできる職場環境を構築する
- B. 地域の現状ニーズと高齢者の特徴を理解したケアの提供が出来る
 - ① ケアのマニュアル化と質の高い看護・支援の実践
 - ② 社会状況に応じた地域の現状ニーズの把握に努める。
- C. 法人内及び周辺地域の医師・行政・地域包括支援センター・サービス事業者とスムーズな連携を図る
 - ① 周辺地域の医師との積極的な連携を図り、医師、利用者から St を利用し良かったと思ってもらえる働きかけをする
 - ② ケアマネジャーやサービス事業者との関係を良好に保ち、医療・介護連携において中心的コーディネーターとして役割を果たし、有効的な事業所活用につなげる
 - ③ 法人内でのコミュニケーションをしっかりと図り、事業所の役割をしっかりと果たす

2. 運営・管理

本部事務局

【2025 年度運営・管理目標】

当法人が、健全且つ継続的な法人としてその使命を達成することができるように、コンプライアンスとガバナンスを尊重した適切且つ効率的な組織運営・管理を行う

【運営・管理目標達成のための具体的活動計画】

- ① 各部署と連携し、2025 年度事業計画・予算の周知徹底と進捗の把握により、円滑な業務遂行を図る
- ② 公益目的支出計画の完了に伴う定款の一部改訂、及び各種規程類の整備・アップデートを行う
- ③ 法律、法令等に基づく適切な人事運営を行うと共に職員の待遇改善に努める
- ④ 理事会・評議員会・LPC 運営会議等の適切な運営を行う
- ⑤ 業務効率化に繋がる IT 化を図る（対象：社会保険、経理・会計、等）
- ⑥ 2027 年 8 月建物竣工及び同年 12 月開業が予定されている笹川記念会館跡地の新ビルへのクリニック等が移転する為の各種事項の前広な計画立案の検討を行う

〔理事会・評議員会の開催予定〕

理 事 会：（第 35 回） 2025 年 6 月 11 日（水）午後 4 時から
（臨時理事会）定時評議員会終了後
2025 年 6 月 25 日（水）午後 5 時 30 分から
〈第 36 回〉 2025 年 10 月（日時未確定）
（第 37 回） 2026 年 2 月（日時未確定）

評議員会：（第 28 回） 定時評議委員会
2025 年 6 月 25 日（水）午後 4 時から
（第 29 回） 2026 年 2 月（日時未確定）

【刊行物】

年報 2024（令和 6 度 事業報告書） 2025 年 6 月 発刊予定

【定期刊行物】 ライフ・プランニング・センター

2025 年 4 月、7 月、10 月、2026 年 1 月 発刊予定